

公益社団法人 福井県ビルメンテナンス協会

第 6 回 理事会議事録 (通算第 69 回)

- 1 開催日時 令和 5 年 5 月 1 5 日 (月) 1 3 時 3 0 分～1 4 時 2 5 分
2 開催場所 協会会議室
3 理事総数及び定足数 総数 7 名 定足数 4 名
4 出席理事 6 名
廣瀬 充、木下勝元、杉田剛彦、内田新二、中村圭吾、會澤秀信
欠席理事 長谷川朋弘
出席監事 清水良夫
途中出席 松島和彦 (1 3 時 4 0 分着席)
- 5 議 案
決議事項 第 1 号議案 令和 4 年度事業報告書 (案) の承認について
第 2 号議案 令和 4 年度決算報告書 (案) の承認について
第 3 号議案 令和 5 年度功労者・永年勤続者表彰候補者(案)の承認について
第 4 号議案 定款の変更 (案) の承認について
第 5 号議案 公益社団法人全国ビルメンテナンス協会 (以下、全国協会)
代議員候補者の推薦について

- 報告事項 ①会長報告
②委員長会報告
③運営委員会事業報告
④総務委員会・広報委員会事業報告
⑤教育研修委員会・労働安全委員会事業報告
⑥青年部会事業報告

6 議事の経過と結果

(1) 会長の挨拶

先週新型コロナも 5 類感染症となり、これから協会事業も滞りなく行っていくが、コロナがなくなったわけではなく、今月ビルクリ競技会、ゴルフコンペ、社員総会と事業が立て込んでいるので、これまで同様感染対策を行って実施したいと思う。本日の理事会は社員総会の内容をご審議いただきたい。

(2) 定足数の確認等

事務局が定足数充足を確認し、第 6 回理事会の議事進行について説明をした。

(3) 前回議事録の承認並びに議案の審議と議決結果

代表理事が議長となり、本会議の成立を宣言した。

議事録署名人は定款 3 2 条の規定に基づき、廣瀬代表理事、清水監事、松島監事

とし、前回(第5回)議事録(令和5年度の事業計画及び収支予算の決議)は行政への報告期限により事後承認となるが、出席理事の全員で承認後、議案の審議に移った。

【決議事項】

◆第1号議案 令和4年度事業報告書(案)の承認について

◆第2号議案 令和4年度決算報告書(案)の承認について

廣瀬会長の指名により、福岡事務局から令和4年度事業報告書(案)並びに決算報告書(案)について、関連性があることから一括上程され、資料に基づき以下のように説明がされた。

令和4年度事業報告書(案)

運営事項：会員退会が1社、会議開催は総会1回、臨時社員総会1回。理事会はコロナによる協会事業運営の協議、委員会はコロナ対策を実施しながら活動を行った。

事業内容：

・公益事業1 教育研修支援事業

第18回ビルクリーニング技能競技会・第19回清掃技術・資機材講習会、ビルクリーニング技能士検定準備講習、登録機関として実施した貯水槽清掃作業従事者研修会、外国人技能検定基礎級への協力、福井県特別支援学校技能検定(第7回清掃検定)に4名の登録講師の派遣および特別支援学校キャリア教育推進事業として4回延べ9名の講師を派遣、第20回アビリンピック福井大会協力および事前講習を2回実施。指導講師育成については防除作業指導者継続研修のみで増員については実施なし。

▶コロナによる事業中止

ビルメンヒューマンフェア&クリーン EXPO 2022への研修視察

・公益事業2 労働災害防止対策事業

労働安全衛生標語の募集、第23回労働安全衛生大会(開催形態はコロナ対応)、第13回無事故無違反コンクール、第5回安全対策セミナーを実施。安全パトロールについては現場の募集は実施せず日常の現場より危険個所を抜き打ちパトロールし、改善報告を行った。

・公益事業3 地域社会貢献活動

屋外での清掃奉仕活動1回、第13回福井県ビルメンテナンスこども絵画コンクール、県との災害協定に基づく資機材調査および県からの要請による南越前地区災害支援、県総合防災訓練への参加、地域災害復旧応援体制構築情報伝達訓練を実施した。

▶コロナによる事業中止

秋の清掃奉仕活動、北陸3県BM協会経営者研修会(福井県主催)

・共通事業 ▶コロナによる事業中止 青年部会主催の親睦事業

・管理部門 功労者・永年勤続者表彰式は新型コロナウイルス感染拡大防止により執り行わず、社員総会にて発表のみ行った。

令和4年度決算報告書（案）

貸借対照表及び財産目録から資産・負債の状況と、正味財産増減計算書により、前年との差異を説明。会費収入は1会員減による減、事業収入は特別支援学校講習の回数増による増。

事業費支出については前年の事業中止からの本年度実施による増、また南越前地区災害支援にかかる増となっており、管理費については事務局職員減による人件費減となった。

清水監事より監査報告書記載のとおり、特に指摘事項はない旨の報告がされた。

議長は第1号議案、第2号議案を諮り、特に質疑応答なく全会一致で了承した。

- ◆第3号議案 令和5年度功労者・永年勤続者表彰候補者（案）の承認について
内田理事より、会員8社から10名の永年勤続者表彰推薦調書が提出された。4月に入り運営委員会では、表彰規程に則り事業功労者1名・教育功労者1名・永年勤続者10名の12名の表彰候補者（案）を選出し、廣瀬会長に推薦した旨の説明がされた。また廣瀬会長より特別功労者表彰に杉田理事を推薦する旨提案がされた。

審議の結果、議長は議案を諮り全会一致で承認した。

- ◆第4号議案 定款の変更（案）の承認について

内田担当理事より、業務執行理事の増員について定款第5章第20条第3項を変更したいと説明がされた。

定款 第20条

3 代表理事以外の理事のうち4名以内を業務執行理事とすることができる。
（変更案）

第20条

3 代表理事以外の理事のうち必要な人数を業務執行理事とすることができる。

これに対し廣瀬会長より、常設委員会が5つあるため4名では不足するため増員したい旨補足説明がされた。

議長は議案を諮り、原案どおり全会一致で可決した。

- ◆第5号議案 全国協会 代議員候補者の推薦について

選挙管理委員長代理で福岡事務局から以下のとおり説明がされた。公益社団法人全国ビルメンテナンス協会（以下、全国協会）の代議員候補者について立候補、推薦等の期日が終了したが、立候補、推薦ともに無かったため、選挙管理委員会は本理事会に候補者の推薦を要請する。現在の代議員は、廣瀬会長、補欠は木下副会長である。

これに対し、廣瀬会長から代議員は会長職、補欠を副会長職で推薦し、総会で信任を得たいと発言がされた。

審議の結果、議長は議案を諮り全会一致で承認した。

【報告事項】

① 会長報告：廣瀬会長

全国協会関連では、中部北陸地区の執行委員は専門職にお願いする旨前回お話したが、体制が整わないためあと2年、今までの体制をとることとなった。また、中部北陸地区本部会議については、今まで会長・副会長の2名出席であったが、次回6月の会議から会長のみの出席となった。副会長は必要に応じてオブザーバー参加となる。

② 委員長会：廣瀬会長 特になし

③ 運営委員会：内田担当理事

第1回運営委員会開催 令和5年4月4日(火) 13:30～

先ほど上程したとおり、功労者・永年勤続者表彰候補者について選考・推薦を行った。

また、現在の常設委員会は5月で終了するため、慰労会を行ってはどうかという提案があった。

④ 総務委員会／広報委員会

担当理事欠席のため、特になし

⑤ 教育研修委員会／労働安全委員会：會澤担当理事

5月22(月)に開催予定の第19回ビルクリーニング技能競技会の参加選手募集をかけているが、現在2名の申込がある。今回技能検定資格者ということで、コロナ禍での技能検定受検者が少なかったこともあり、参加者が少ないがこの2名で競技会を開催しようと思っている。

⑥ 青年部会：木下副会長

5月24日(水)に親睦ゴルフコンペを開催する。過去最高の23名が参加予定である。

7 その他

内田理事より、以下の発言がされた。

協会講師について、全国協会より6月に貯水槽従事者研修指導者講習会の開催案内が出ている。現在福井県協会の講師は2名だが、福井県で受け持っている教科が3教科ある。1名はここ数年石川県協会から来てもらっており、可能であれば資格のある人に受講していただいて講師を1～2名増員していただきたい。講習会は毎年実施されるわけではなく、今回久しぶりの開催なので複数名の受講をお願いしたい。

8 監事講評：清水監事

担当理事と各委員会の皆様のご協力により、令和4年度の事業が無事終了し、また事業報告・決算についても承認された。令和5年度においても事業計画・収支予算に沿って、コロナも5類に分類されるが引き続き感染対策をしながら、事業が円滑・活発に推進されることを願います。

議長から次回の第1回理事会の日程は、5月31日（水）第12回社員総会で新役員が承認された後に、アオッサ608研修室において開催すると案内があった。

以上をもって議案の審議等を終了したので、14時25分議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は署名押印する。

令和5年5月15日

代表理事

廣瀬



監 事

清水良子



同

松島和彦

